

これまでの巡視で指摘があった項目をまとめましたので、事前チェックの際にご活用ください。

- PS・EPS 内は物を置かないことになっていますので、然るべき場所に保管してください。
- ベランダのキャットウォークに物を置かないでください。落下した際、下が通行人のいる道路となっているため事故につながることもあり危険です。
- 避難経路に物を置いたり、地震の際に棚の転倒などで通路が塞がれることのないようにお願いします。また、同様に、廊下にも物（特に可燃物）は置かないでください。
- クリーンベンチ等にある排気口を塞ぐかたちで物が置かれている場合は、然るべき所に移動して物は置かないようにしてください。
- 低温室に飲食物を保管しないでください。※時節柄、特に注意をお願いします。
- ボンベはチェーンや専用のベルト等で必ず二力所で固定をし、転倒防止措置をしてください。移動が便利なように車輪がついたボンベラック等に乗せている場合は、地震の際にボンベが移動して危険です。床に下ろして固定してください。
- 本棚やロッカーなど（特に出入口付近）は、ストッパーなどで転倒防止措置をしてください。
- 床に這うケーブル、コンセント等がそのままになっていると足をひっかけてつまづいたり、踏みつけにより断線の原因となります。人が通らないところにテープ等で固定するか、耐荷重性のあるモールを敷設するなどしてください。また、漏電の恐れがありますので、水のかかる位置に置かないでください。
- 廃液タンクを床に置く場合はケースなどに入れ、ひっかけによる転倒防止措置をとってください。
- ドラフトの排気が十分にできているかを確認してください。
- 実験室内では全員、**保護メガネを着用**してください。
- ラット等がいる部屋については、ネズミ返しの設置がされているか、ネズミ返しの高さが適切かを確認してください。ネズミ返しの近くには段ボールなど、ネズミが逃げた場合の踏み台となるようなものは置かないでください。
- クラス3Bのレーザー顕微鏡を使用している教室は、入口にレーザー管理区域に関する掲示をしてください。
- 実験台は整理整頓してください。火を使う実験では可燃物を近くに置かないよう特に注意してください。保護具は清潔な場所に保管してください。
- 毒物・劇物は鍵のかかる保管庫に収納してください。また、毒物・劇物が、一般試薬の棚と一緒に保管されていることのないよう、薬品庫の整理整頓に気をつけてください。
一般試薬であっても出したままにしておくことのないようにお願いします。
- 薬品保管庫に置かれている危険物の合計量が指定数量の1/5を超えてるので、消防へ所定の手続きを申請するか保管する危険物量を減らしてください。
- 竪穴式の階段室の扉は、火災時の煙の拡散防止のため常時閉鎖が必要ですので、階段室の扉は閉めてください。

ご協力ありがとうございました。

薬学部安全衛生室